

仙台市いじめ等相談支援室 S-KET の令和 4 年度相談実績について

1 相談件数（延べ件数）

488 件（電話 263 件、メール 162 件、面接 63 件）

※相談者別内訳（保護者 379 件、児童生徒 86 件、その他 23 件）

<概要>

- ① 月平均相談件数は 40.7 件（前年度比 3.3 件増）。特に、2、3 月の合計は 147 件で、年間件数の約 3 割を占めるなど、年度内の相談や対応を希望するケースが多くみられた。
- ② 電話相談は、保護者からいじめの被害を訴えるケースが多く、複数回の対応後、面接相談につながるケースが多かった。
- ③ メール相談は、電話相談に比べると匿名の相談が多く、具体的な内容を尋ねながら複数回やり取りをするケースもみられた。
- ④ 面接相談は、専門員に具体的なアドバイスを求めるものが多く、学校との調整を要する事案が多かった。

2 主訴別相談状況（延べ件数）

（単位：件）

	条例上禁止 されている行為			左記以外								計
	いじめ	教職員の 不適切な 対応	虐待	不登校	※ 1 教職員 の対応	心身 の悩み	友人 付き合い 等の ※ 2 悩み	進路・ 学習の 悩み	家族 に関する ※ 3 悩み	子育て の悩み	その他	
令和 4 年度	252	94	0	2	43	17	24	2	18	5	31	488
実相談者数	67	11	0	2	21	14	9	1	7	4	22	158
令和 3 年度	252	27	4	15	42	24	24	0	12	5	44	449
実相談者数	76	8	3	8	21	12	14	0	5	4	34	185
令和 2 年度※ ⁴	170	6	7	9	49	36	37	7	20	3	34	378
実相談者数	67	5	5	6	20	13	20	3	12	2	24	177

※ 1：「教職員の不適切な対応」を除く、担任との不和、学校に対する不安・不満など

※ 2：「いじめ」を除く、友人からの疎外感、学校に居場所がないことへの不安など

※ 3：親に言いたいことが言えない、子どもへの接し方、家庭内の不和など

※ 4：開設した 6 月以降の相談件数

<概要>

- ① 「いじめ」の相談が全体の 51.6%と最も多く、次いで、教職員に関することで「教職員の不適切な対応」と「教職員の対応」が合わせて 28.1%、「友人付き合い等の悩み」が 4.9%であった。
- ② いじめ相談の多くは、「学校に相談したがなかなか解決に向かわない」など、学校の対応に関する相談であった。また、「友人関係などにより、安心して登校できない」など子ども登校に不安を抱く保護者の相談が多くみられた。

3 相談の対応状況（延べ回数）

（1）学校・関係機関との調整

288 回（前年度比 46 回増）

【内訳】

- ① 電話等 267 回（前年度比 41 回増） ※実相談者数 39 人
相談者に対する具体的な対応についての助言や、学校と相談者の話合いに向けた調整を行なったもの。
- ② 訪問 21 回（前年度比 5 回増） ※実相談者数 14 人
専門員が保護者に同行して学校を訪問し、児童生徒や保護者の思いの代弁や、学校との関係修復を図ったもの。

（2）学校・関係機関への情報提供

20 回（前年度比 4 回増） ※実相談者数 11 人

相談者の意向に基づき、学校や教育委員会に対して、相談内容や相談者の思いなどを伝えたもの。

<概要>

- ① 専門員による学校や関係機関との調整は、令和 3 年度に比べ増加した。
- ② 面接や電話による相談を踏まえて整理した相談者の思いや要望を、専門員から学校に伝え、対応や支援について確認や整理を行なった。
- ③ 事案によっては、専門員が学校に複数回訪問し、相談者と学校や関係者との調整を図る事案もあった。